



④入場行進
⑤勢いよく一斉放水
⑥標語を紹介

▶知事表彰

本 団 副団長 岡田 裕二 (10 年以上)
本 団 班長 池内真由美
第 1 分団 副分団長 山田 善仁

▶愛媛県消防協会長表彰

< 功績章 >
第 3 分団 分団長 岩本 裕記
< 勤続章 >
(20 年以上)
第 2 分団 団員 合田 仲和
(15 年以上)

本 団 班長 高森 由起
本 団 団員 足立 智恵
第 1 分団 団員 濱田 淳司
第 5 分団 班長 町田 興司
第 9 分団 班長 木村 太一

▶町長表彰

< 個人表彰 > (消防団員歴 2 年以上)
本 団 団員 茂川 久子
第 1 分団 団員 谷川 善彦
第 3 分団 団員 岩本 誠也

石丸幸子さんを委嘱 人権擁護委員

1 月 1 日付けで、法務大臣から石丸幸子さん＝筒井＝
が人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、差別、暴行、虐待、いじめ、プ
ライバシー侵害など皆さんの身の回りの人権に関する相談
に応じています。相談は無料で秘密は厳守します。



▶人権相談はどこでや てるの？

原則、毎月第 4 水曜
日に文化センターで行って
います。詳しくは、毎月の広
報まさきお役立ちカレン
ダーをチェック！

1 年の無火災を誓って 令和 2 年消防出初式

「令和 2 年松前町消防出初式」は 1 月 12 日、
松前公園多目的広場で行われ、消防団員など
の消防関係者約 500 人をはじめ、地域住民が
参加しました。

オープニングセレモニーでは、松前町少年消
防クラブ員が防火標語「ひとつずつ いいね！
で確認 火の用心」を掲げて火災予防を呼び
掛けたほか、消防団松前方面隊による木やり
唄や腕用ポンプ操法が披露されました。

続いて行われた式典では、消防団員が入
場行進した後、功績のあった団員を表彰。最
後は迫力のある一斉放水で締めくくり、参加
した皆さんは、火災予防に対する意識を高め
ていました。表彰者は次の通りです(敬称略)。

第 3 分団 団員 持田 優介
第 5 分団 団員 東山 伸也
第 6 分団 団員 日野 恒彦
第 6 分団 団員 篠崎友貴彦
第 6 分団 団員 宮里 政人
第 7 分団 団員 宇都宮完二
第 7 分団 団員 福山 光生
第 7 分団 団員 久保 貴之
第 7 分団 団員 大西 研一
第 8 分団 団員 石橋 幸治
第 9 分団 団員 三輪 哲久
< 優良班表彰 > (他の模範となる班)
第 1 分団 南黒田班 第 2 分団 新立班
第 5 分団 神崎班 第 6 分団 大溝班
第 7 分団 大間班 第 9 分団 西高柳班
▶松前町纏会長感謝状
第 3 分団 本村班



＊瑞宝双光章【地方自治功労】
ごうだ・よしお
郷田 良雄さん
元松山地方局総務福祉部長 88 歳 恵久美

昭和 28 年愛媛県庁に採用され、昭和 48 年からの 3
年間は瀬戸大橋架橋に向け漁業補償の調整などに尽力。
その後健康指導課で肺がん検診を導入したり、公害課で
伊方原発 3 号機の新設に向けた地元住民との調整を行っ
たりするなど、県行政の進展のために尽くしました。
受章に対し、「身に余る光栄に存じます。共に仕事をして
きた仲間へ心から感謝しています」と話していました。



＊瑞宝小綬章【地方自治功労】
わたなべ・としお
渡部 敏夫さん
元県南予地方局長 71 歳 大溝

昭和 46 年愛媛県庁に採用され、平成 11 年から観光・
広報課長、秘書広報局長、観光国際局長を歴任。情報
公開条例の制定、しまなみ海道を生かした観光振興や中
国との国際便の就航などに取り組んだ後、八幡浜・南予
地方局長として南予地域の活性化に尽力しました。
受章に対し、「長年にわたり多くの方々のご指導があつての
こと。支えてくれた皆さんに感謝しています」と話していました。

かるたを通してふれあいを楽しむ 松前町文化協会「新春かるた取り大会」

松前町文化協会主催の「新春かるた取り大会」は 1 月
19 日、松前公園体育館で行われ、小学生と老人会から
60 人が参加しました。

大会では町内の文化財や名所を題材にした「松前え～
とこ 60 選かるた」を使用し、参加者たちは真剣勝負をし
ながらふれあいを楽しんでいました。

大会の結果は次の通りです(敬称略)。

▶入賞者(小学生の部)

1 位 兵頭心桜(岡田小 6 年) 2 位 麓太陽(松前小 6 年)
3 位 西川舞奈(松前小 6 年)

▶入賞者(老人会の部)

1 位 竹内静香(北伊予) 2 位 鎌倉毅(北伊予)
3 位 野村政一(松前)



④入賞者の皆さんと文
化協会矢田会長(中央)
⑤白熱した試合。読ま
れる札に集中する



ようこそ、まさき町へ

まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、1月11日から13日まで本町を訪れました。

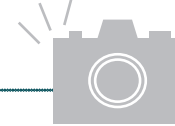
夏にまつまえ町で交流を行っている児童たちは、約5カ月ぶりの再会に大喜び。初日の夕食後は、仲良く道後温泉に入り、旅の疲れを癒しました。

2日目は、松山城見学の後、伊予農業高等学校で食品化学科の皆さんが開発した「はだか麦レシピ」の調理に挑戦。はだか麦を使ったピザとラーメン作りを体験しました。みんなでおいしく食べた後は、砥部焼絵付け体験やホッケー体験と盛りだくさん。ホッケー体験では、青いピッチを広く使い、元気いっぱいにラリーなどを行いました。

最終日は、道後を散策し、坊っちゃん列車に乗った後、お別れとなる松山空港へ向かいました。3日間、松前町をはじめ、愛媛県の文化や食に触れ、友情を深めた児童たち。本年度の交流事業はこれで終了となりますが、1,500キロメートル離れた児童たちの交流は、これからも続いていきます。



1_ようこそまさき町へ。空港でお出迎え 2_道後温泉。お揃いの浴衣でピース 3_一緒に宿泊。枕を並べる 4~6_お兄さんお姉さんに教わりながら、はだか麦料理に挑戦 7_砥部焼の絵付け体験。完成は後日のお楽しみ 8_盛り上がったホッケー体験 9_最終日の道後散策。坊っちゃん列車の前で



本年もよろしくお願いします

令和2年新春年賀のつどい

「令和2年新春年賀のつどい」は1月6日、文化センターで開催され、約250人が参加しました。

年頭のあいさつで岡本町長は、12月から2期目の町政がスタートしたことに触れ、「今までの五つのまちづくりを深化・発展させ、町民の皆さんが納得する町政に全力で取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。

④岡本町長のあいさつ ⑤歓談する参加者



人権の花と心を育てたよ

人権の花運動「花の贈呈式」

人権の花運動「花の贈呈式」は12月5日、青葉幼稚園で行われました。

この運動は、園児が育てた花を施設などに届けることで、人権の輪を広げる取り組みです。今年は、青葉幼稚園の園児が大切に花を育て、東公民館、町内の金融機関、福祉施設の関係者などに手渡しました。園児たちに笑顔で手渡された皆さんは、「ありがとう」とにっこり。人権だけでなく、笑顔の輪も広がっていました。

④「私たちが育てたよ」。大事に手渡す ⑤お花を前に、「はい、チーズ」



プロから学ぶ貴重な体験

第6回プロ野球愛媛県人会野球教室

「第6回プロ野球愛媛県人会野球教室」は12月28日、松前公園多目的広場で行われ、少年野球チームに所属する子どもたち約100人が参加しました。

この教室は、愛媛にゆかりのあるプロ野球選手やそのOBで構成する「プロ野球愛媛県人会」が主催し、平成26年から県内各地で開催しているもの。松前町で初開催の同教室には、東北楽天ゴールデンイーグルスの安楽智大投手、広島東洋カープのアドゥワ誠投手、OBの橋本将さん、筒井和也さん、梅田浩さんら豪華な講師陣が参加しました。

憧れのプロ野球選手を目の前に、子どもたちは大興奮。目を輝かせながら、投球フォームやバットティングのポイントなどを真剣に学んでいました。



④憧れの選手たちと記念撮影 ⑤狙ったところに集中。投球フォームを確認 ⑥安楽選手から守備の指導を受ける

